

## 第70回中国四国産科婦人科学会評議員会議事録

評議員会： 2017年9月24日（日） 12：30-13：30

於：広島県医師会館 3階 303会議室

出席者： 会長 工藤 美樹（広島）

理事 苛原 稔（徳島） 下屋浩一郎（岡山） 杉野 法広（山口）

杉山 隆（愛媛） 原田 省（鳥取） 前田 長正（高知）

幹事 三好 博史（広島） 鎌田 泰彦（岡山）

評議員 池上 信夫（高知） 上田 克憲（広島） 金崎 春彦（島根）

金西 賢治（香川） 栗岡 裕子（島根） 関 典子（岡山）

田中 宏和（香川） 谷口 文紀（鳥取） 田村 博史（山口）

寺本 秀樹（広島） 長谷川雅明（岡山） 林 和俊（高知）

藤野 俊夫（山口） 増山 寿（岡山） 水之江知哉（広島）

村上 朋弘（広島） 安井 敏之（徳島） 矢野 浩史（愛媛）

山本 暖（広島）

（欠席者：京 哲，秦 利之，平松 祐司，江尻 孝平，内藤 博之  
伊藤 隆志，岩部 富夫，越智 博，中塚 幹也，中山健太郎  
中山 孝善，沼 文隆，濱脇 弘暉，藤田 卓男，古本 博孝  
横山 幹文）

### 会長挨拶：

工藤会長より、評議員会開催の挨拶があった。

第70回中国四国産科婦人科学会の評議員会を開催させていただきます。本日はお集まりいただきありがとうございます。春に引き続き、広島で開催させていただき、先生方も広島に詳しくなられたのではと思います。これを機会に、またどうぞよろしく願います。お弁当が届きますので、お食事をとりながら会を進めさせていただきます。

### 報告事項：

- 1) 工藤会長より指名を受け、鎌田幹事より平成28年度会員数および会費納入状況、平成29年度会費納入状況、会誌発行状況について報告があった。
- 2) 工藤会長より今年度の学会賞（八木賞）には2件の応募があったが、昨日の学術委員会での審議により、いずれも八木賞に該当しなかったことが報告された。

そして八木賞にはこれまで大学からの応募が主であったが、いわゆる関連施設からも臨床研究を積極的に応募してほしいというのが学術委員会からの意見ですと報告された。

- 3) 工藤会長より、平成 29 年度臨床公募研究に高知大学から「再発子宮頸癌に対するベバシズマブの使用」に関する応募があったことが報告された。

学術委員会で審議したところ、ベバシズマブの副作用についてであるが、どれくらいの症例が中四で集まるか、研究が時期尚早ではという意見が出た。そこでまず、どれくらい登録できるかの予備調査を行い、来年度に再度申請して採択を審議するというで決定したとの報告があった。再発子宮頸癌にベバシズマブが使用され始めて約 1 年が経過したが、これまでに全国から約 30 件の消化管穿孔例が報告されている。中四で 10%とすると年間 3 件。これでは差が出ないということですが、今後症例数が増えてくると思われるので予備調査してから再申請していただくとのことと追加があった。

- 4) 工藤会長より、次年度からの Plus One セミナーにつき報告があった。

Plus One は岡山大学の平松先生が日産婦役員の時に開始された、新規の産婦人科医をいかに増やすかといったもので、各大学が昨年より 1 名多く入局させたら全国で昨年より 80 人の産婦人科医が増えるという意味です。各連合学会でセミナーを開催し、日産婦本部から 50 万円、中四から最大 150 万円の予算で、今回が 4 回目になります。日産婦本部も財政が厳しいようで次回から補助が減るのではということです。中四学会も 150 万円の補助により毎年 100 万円ずつ繰越金が目減りしており、そのあり方を考え直す時期に入っていると言えます。

昨日の理事会で、4 回開催したセミナーの成果がどれくらいか、参加者がどこで新規に産婦人科医をしているかどうかなどを調査し、その結果を見た上でこれからを決めてはとの意見が出ました。各大学当たりではそう人数も多くないので、各大学の医局長に調べていただくことといたしました。それほど難しいことにはならないと思います。

- 5) その他の報告事項は、特になし。

#### 協議事項：

- 1) 平成 28 年度決算書

工藤会長より指名を受け、鎌田幹事より、平成 28 年度会計の報告があった。

その後、工藤会長より、監事が 2 名とも欠席ですが、配布資料中に「平成 28 年度中国四国産科婦人科学会決算につき監査いたしましたところ、正確且つ妥当であることを認めます。」との監査報告を江尻、内藤両先生よりいただいたことの報告があり、全会一致で承認された。

- 2) 平成 29 年度予算案

鎌田幹事より報告があった。

収入の部については、今年度の会費納入の義務のある会員数は 1,252 名で、会費納入率は例年 99%以上であること、また若干名の過年度会費納入と併せて考え 1,252 人分で計算した。また機関誌収入について、掲載料は過去 5 年間の投稿件数および 1 編あたりの掲載料より 150 万円を計上した。利息は昨年同様で策定した。

支出の部については、機関誌刊行費の印刷費を過去 5 年間の状況より 410 万円に減額した以外は、例年通りに策定したと説明がなされた。

工藤会長より、会費免除の先生が増えた分、収入は 2 万円減額。支出は印刷代を 20 万円ほど節減していただきました。これが昨年度との違いですとの追加発言があった。

特に意見なく、全会一致で承認された。

### 3) 次期および次々期開催の件

工藤会長から、来年の（第 71 回）本会は平成 30 年 9 月 22、23 日に松山市で杉山教授が開催されること。また原則の開催順番でいくと、第 72 回の平成 31 年は鳥取大学の原田教授にお願いすることが理事会で決定しましたとの報告があった。

原田理事から、平成 31 年 9 月に米子市で開催します。どうぞよろしくお願ひしますとの挨拶があった。

### 4) 役員交代について

工藤会長から、各役員 of 交代については追加資料の如く改選されたこと。期間は平成 29 年 9 月 25 日から平成 30 年 9 月 23 日までとすること。財務委員会と編集委員会の委員長は、平松先生から増山先生に交代すること。各県の評議員には原則として日本産科婦人科学会の代議員がなりますが、3 名いない県は、追加していただき 3 名にしておりますとの報告があった。

また工藤会長より、名誉会員である関場 香先生、平位 剛先生のご逝去につき報告があった。[香川 高田 茂先生を追加（事務局）]

### 5) 名誉会員推戴について

工藤会長から、岡山産科婦人科学会より平松祐司先生、徳島産科婦人科学会より中山孝善先生、山口産科婦人科学会より伊東武久先生、広島産科婦人科学会より吉田信隆先生の計 4 名の推薦があった。昨日の理事会で審議されて、4 名とも名誉会員への推戴が承諾されたとの報告があった。また本日の総会では、ご出席の確認された吉田信隆先生に「推戴状」をお渡しする旨が伝えられた。

なお配布資料中の「中国四国産科婦人科学会々則」（内規）第 4 条 2) の名誉会員選出に関する一文ですが、昨日の理事会で「評議員会」を「理事会」への変更、そして「評議員会と総会で報告する」との文言を追加するという案が出ました。会則を改訂するには、総会にてお認めいただくということですのでとの提議がなされた。改訂案への意見を募るも特になく、全

会一致で承認された。

6) プロジェクト Plus One 産婦人科セミナー収支報告について

工藤会長より、昨年は香川で秦先生が開催されました。配布資料にありますが、急速遂娩術と超音波のセミナーをされています。トータルの支出が 187 万円、日産婦本部からの 50 万円と残りの 137 万円を中四から拠出していますとの報告があった。本件については特に意見無く、全会一致で承認された。

7) その他

工藤会長より、中四学会賞（八木賞）に大学だけでなく関連施設からも臨床研究をしっかりと応募してほしいということ。臨床公募研究は予備調査をさせていただくこと。Plus One は予算削減で今まで通り出来ないのもそれなりの覚悟してやってくださいということ。あとは会則の改訂、これだけが昨日の理事会、学術委員会で決定したことですと再度報告がなされた。

工藤会長より閉会の辞あり、閉会。

以上